

社員一人ひとりの成長へ スキル見える化による気づきの提供

2021年2月12日 NTTデータ先端技術株式会社 セキュリティ事業本部 事業推進部 宮坂 孝

Agenda

Agenda

- 1. 会社紹介
- 2. セキュリティビジネスの分類と JTAG業務モデルの対応
- 3. JTAGトライアル結果より 業務別スキル考察
- 4. JTAGを活用した取り組み

自己紹介

NTTデータ先端技術株式会社 セキュリティ事業本部 事業推進部 介画担当

宮坂 孝

一般財団法人 日本サイバーセキュリティ人材キャリア支援協会(JTAG) 企画運営委員

2019年度より当財団の前身となるワーキンググループに参画し、セキュリティ人財の人財像の定義などを主に担当

自社においては、セキュリティ事業本部内の人事・人財育成を主に担当本部社員の育成施策として、JTAGの導入を進めている

会社紹介

あなたとともに、変わる世界をかえていく

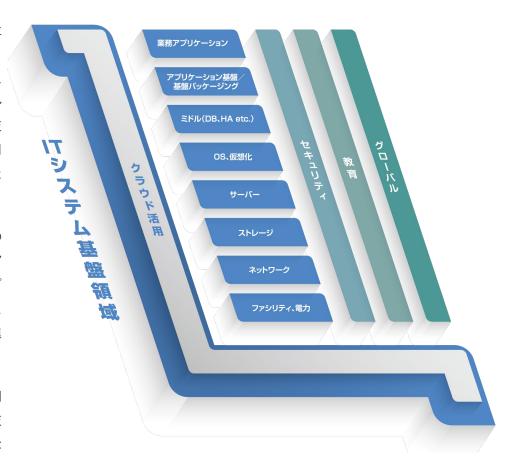
Be a forerunner,create more wonderful world"s



NTTデータ先端技術株式会社 (NTT DATA INTELLILINK) は、NTTデータグループの一員 として、ミッションクリティカル な情報通信システム基盤を最新技術を活用して、設計、構築、運用を行うことで、お客さまへの新たな価値の提供を目指しています。

インターネットによって世界中の あらゆる人々が、最新技術へのア クセスが可能となった今、オープ ンソースやクラウドサービスと いった基盤技術の革新も急速に進 んでいます。

わたしたちの英語名の一部「INTELLILINK」は、Intelligence(知性)をつなぐという意味を込めた造語です。オープンな環境下で先端技術を常に獲得し続けるために、生まれ続ける新たなIntelligenceをつなげ、お客さまへご提供していきます。



3つのビジネスドメイン

ITシステム基盤領域



ITシステムの基盤領域 に3つのビジネスドメインで注力

プラットフォーム ビジネス

製品、サービスの販売を軸にビジネスを展開

- ・消費電力やラック数を大幅削減し、容易に容量、パフォーマンス を増強可能ハイパーコンバージドインフラストラクチャ**Nutanix**
- ・大量の問い合わせにAI連携で高い精度と速度で回答する クラウドサービスを提供する**テクノマーククラウドプラス、Quick Reply**
- ・新たなクラウドの活用、Oracle Cloud など

ソリューション ビジネス

各技術分野のソリューションの提供や 技術支援を軸にビジネスを展開

- ・方式設計や基盤設計から維持運用まで高度SE支援サービス
- ・IT技術の活用ニーズに応えるビッグデータ分析基盤や機械学習 コンサルティング
- ·Microsoft製品による情報連携基盤構築
- ・NTTデータ5万IDの認証基盤VANADIS Identity Manager
- ・クラウド環境に対応し統合運用管理を実現するHinemos など
- ・インドを中心とした海外の優秀な技術者を活用し、最新のデジタル技術 や海外PKGの活用・海外展開の支援

セキュリティ ビジネス

セキュリティの診断、コンサル、ソリューション・ サービス、運用監視までトータルにビジネスを展開

- ・あらゆるITデータログを多様に分析するSplunk
- ・新たな脅威を分析し判定する次世代FW監視サービス(ARGUS)
- ・ネットワークとWebアプリにおける問題点を指摘し、的確な改修方針をご提案するセキュリティ診断サービス
- ・弊社が認定審査機関であるPCI DSSトータルサービス など

セキュリティビジネスの分類と JTAG業務モデルの対応

セキュリティビジネスの分類

NIST Cybersecurity Framework Version1.1では 5つの機能に分類された約100項目の対策がまとめられている

機能

多層

防御

特定 Identify

「守るべき 情報資産」と 「脅威」を 特定する

そもそも何がある かを把握する

防御 Protect

攻撃を防ぐための 仕組みを 導入する

まずは、防御する

検知 Detect

攻撃を検知する ための仕組みを 導入する

防御をすり抜けた 攻撃を検知する

対応 Respond

攻撃された場合 の対応を迅速に 行えるようにする

検知した攻撃を 封じ込める

復旧 ecover

Recover

攻撃による影響 を取り除き、 迅速に復旧する

現状復帰と再発防止

(参考: https://www.nist.gov/cyberframework)

セキュリティビジネスの分類

特定	防御	検知	対応復旧
事前対策(予防策)		入口/内部/出口	事後対策(レジリエンス)
・各種セキュリティ対策製品・アセット&リスクマネージメント		・各種監視サービス ・EPP/EDRツール	・インシデントレスポンス支援
脆弱性管理	情報漏えい防止	IDS/IPS監視	インシデントレスポンス・救急
セキュリティ診断	暗号化	WAF監視	フォレンジック・解析・復旧
	HSM	次世代FW監視	
		マルウェア検知・解析	
		UTM監視	
		Proxyログ分析	
		次世代SIEM	
コンサルティング		インテリジェンス	教育
CSIRT構築/運用支援		CSIRT連携	標的型攻擊耐性強化
SOC構築/運用支援		SOC連携	サイバーレンジ

サイバー攻撃演習

診断連携

システム監査・コンサル

セキュリティビジネスとJTAG業務モデルの対応

特定	防御	検知	対応復旧
事前対策(予防策)		入口/内部/出口	事後対策(レジリエンス)
・各種セキュリティ対策製品・アセット&リスクマネージメント		・各種監視サービス ・EPP/EDRツール	・インシデントレスポンス支援
セキュリティ診断	セキュリティ ソリューション	SOC	インシデントレスポンス CSIRT
診断業務 コーディネーター プリセールス マネージャー	アプリ開発・運用 プロジェクトマネージャー インテグレーション プリセールス マネージャー	オペレーター 情報収集業務 分析業務 プリセールス マネージャー	情報収集業務 評価業務 分析業務 現場責任業務 マネージャー
コンサルティング		インテリジェンス	教育

コンサルティング

分野別コンサルタント マネージャー インテリジェンス・新規技術・セキュリティ教育等

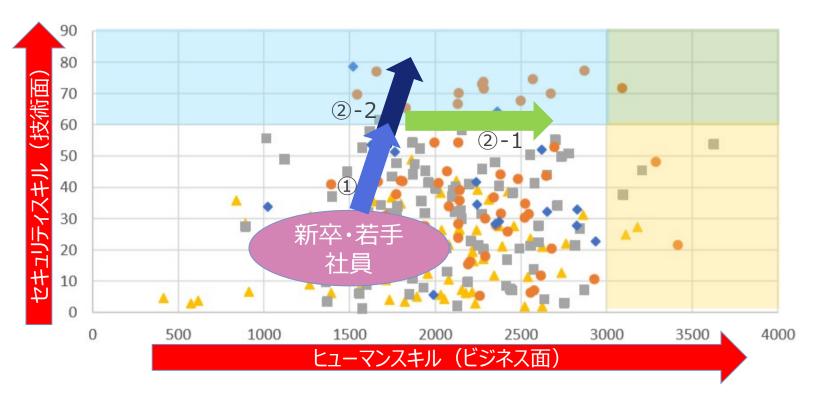
営業·事業戦略

JTAGトライアル結果より

業務別スキル考察

スキル成長についての考察 技術者(コンサルタント業務以外)

- ① 技術面に比重を置いたスキル強化
- ②-1 リーダー業務を通したビジネス面のスキル強化(管理職候補の養成)
- ②-2 特定の技術領域で技術面のさらなる強化

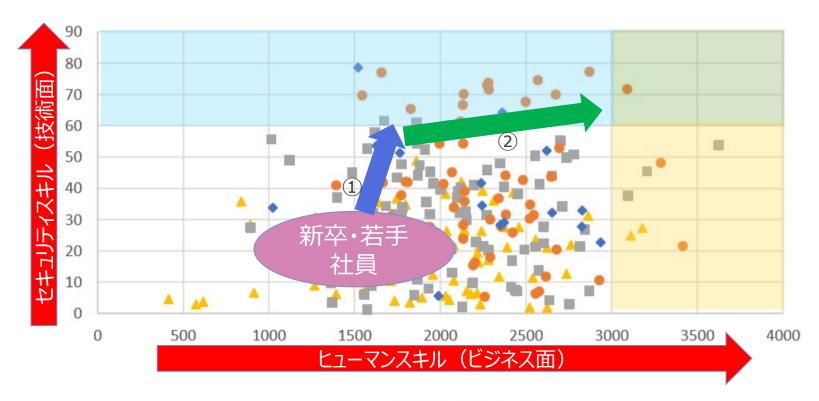


▲20代 ■30代 ●40代 ◆50代

JTAG認定WG「セキュリティ業務を担う人材のスキル可視化における 概念検証報告書~トライアル結果の考察~」より

スキル成長についての考察 技術者(コンサルタント業務)

- ① コンサルタント以外の業務で技術スキルを強化
- ② コンサルタント業務を通じてビジネス面のスキルを強化



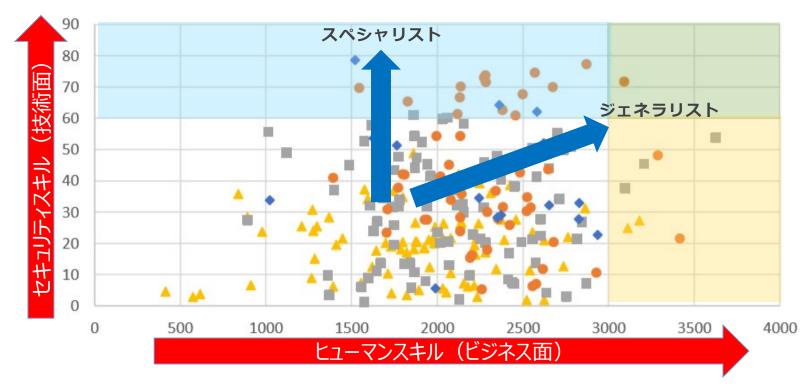
▲20代 ■30代 ●40代 ◆50代

JTAG認定WG「セキュリティ業務を担う人材のスキル可視化における概念検証報告書~トライアル結果の考察~」より

成長の方向性を意識した育成

2つの方向性を意識する

- ・スペシャリストの育成:特定技術領域の技術スキルを突き詰める
- ・ジェネラリストの育成:技術スキルと並行してビジネススキル、マネジメントスキルの強化をしていく

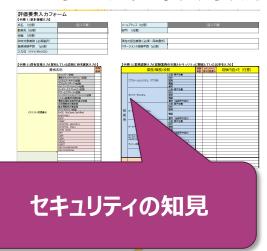


▲20代 ■30代 ●40代 ◆50代

JTAG認定WG「セキュリティ業務を担う人材のスキル可視化における 概念検証報告書~トライアル結果の考察~」より JTAGを活用した取り組み

社員一人ひとりに気づきの提供

●セキュリティスキル診断



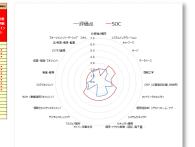
●コンピテンシーA



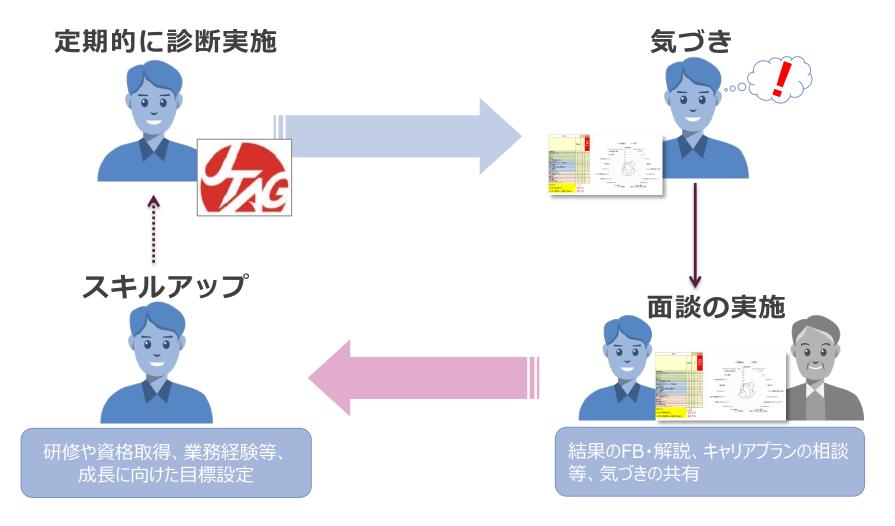
●コンピテンシーB



スキルを見える化



気づきが成長に繋がるサイクルの定着化



JTAGの活用目的

- ・社員一人ひとりに気づきの機会を提供
- ・気づきを成長に活かせるサイクルの定着化

NTTData

Trusted Global Innovator